

科目名 母性看護援助論 I	配当時期 2年次前期	講義担当者	
時間割表記名 母性看護援助論 I (正常な経過)	単位数 1単位 時間数 30 時間(15 回)	深水素子	
事前学習内容 テキストや資料をもとに母性看護学概論の復習をしておく。			
授業目標 1. 妊娠・分娩・産褥期にある対象と新生児の生理的変化と経過と必要な看護および保健指導が理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	妊娠期の身体的変化 (1)妊娠の生理 (2)胎児の発育とその生理	講義	テキスト①②③ 資料
2	(3)母体の生理的変化(マイナートラブル等)	講義	テキスト①②③ 資料
3	妊娠期の心理・社会的特性	講義	テキスト①②③ 資料
4	妊婦と胎児のアセスメント (1)妊娠とその診断 (2)妊娠期に行う検査とその目的	講義	テキスト①②③ 資料
5	(3)胎児の発育と健康状態の診断 (4)妊婦と胎児の経過の診断とアセスメント	講義	テキスト①②③ 資料
6	妊婦と家族の看護 (1)妊婦が受ける母子保健サービス (2)妊婦の保健相談の実際 (3)親になるための準備教育	講義	テキスト①②③ 資料
7	分娩期における看護 1)分娩の要素 (1)分娩の 3 要素 (2)分娩の機序 2)分娩の経過 (1)分娩の進行と産婦の身体的変化 (2)産痛 (3)産婦の心理・社会的変化	講義	テキスト①②③ 資料
8	3)産婦・胎児、家族のアセスメント 4)産婦と家族の看護	講義	テキスト①②③ 資料

9	5)分娩期の看護の実際 (1)分娩第 1 期の看護	講義	テキスト①②③ 資料
10	(2)分娩第 2 期の看護 (3)分娩第 3・4 期の看護	講義	テキスト①②③ 資料
11	産褥期における看護 1)産褥経過 (1)産褥期の身体的変化 (2)産褥期の心理・社会的変化 2)褥婦のアセスメント (1)産褥経過の診断 (2)褥婦の健康状態のアセスメント	講義	テキスト①②③ 資料
12	3)褥婦と家族の看護 (1)身体機能の回復および進行性変化への看護 (2)児との関係確立への看護 (3)育児にかかわる看護 (4)家族関係再構築への看護 4)施設退院後の看護 (1)育児不安と育児支援 (2)職場復帰	講義	テキスト①②③ 資料
13	新生児期における看護 1)新生児の生理 2)新生児のアセスメント (1)新生児の診断 (2)新生児の健康状態のアセスメント	講義	テキスト①②③ 資料
14	3)新生児の看護 (1)出生直後の看護 (2)出生後から退院時までの看護 (3)生後 1 ヶ月健康診査に向けた退院時の看護	講義	テキスト①②③ 資料
15	妊娠・分娩・産褥期にある対象と新生児の看護のまとめ 筆記試験(45分)	講義 試験(筆記)	テキスト①②③ 資料
受講上の注意 ○この科目での学習内容は、「母性看護援助論Ⅲ」の技術演習につながる。 ○演習で活用できるように復習を行う。			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 母性看護学1 母性看護学概論 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論 医学書院 ③看護実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メヂカルフレンド社 参考文献 ①病気がみえる Vol. 10 産科, 2014, 第 3 版, メディックメディア			